

## 2018（平成30年）年度事業報告

### 1. 申請から認可、開校まで

2017年2月に学校法人せとうちの新設、日本ITビジネスカレッジの設置について申請したが、同年12月21日まで認可が遅れ、そのため認可後の募集活動機関は3か月程度のみという厳しい状況であった。

3月末まで募集活動を行った結果、27名（日本人1名、留学生26名）の第1期生を迎え4月4日の入学式を挙行することができた。

### 2. 地元密着と中退者への対応

2018年度入学生について、新規校ということもあり、本校の特徴を必ずしも理解が十分できている状況ではなく、また日本語能力に個人差が大きかった。そのため授業が理解できない、学費及び生活費が賄えないなどの理由で、前期3名、後期7名の中退者を出した。

そのような問題への対策として、個人面談を実施し、悩み、困りごとの把握に努めた。また日本人とのふれあいの場を増やそうということで、生け花教室、折り紙教室なども地域の人の力を借りながら開催した。

地元住民との交流を増やすため、長船夏祭りにベトナム、スリランカ料理などを提供する屋台を出したり、地元のだんじり見学ツアーを実施した。

同年代のふれあいを求め、邑久高校の生徒との定期的な交流もおこなった。

### 3. 課題

- (1) 入学前の学費納入が困難であったこともあり、多くの学生が学則に定められたとおりに学費納入ができなかった。
- (2) 当初計画では学生に学校付近の古民家に住んでもらい、地域の活性化にも繋げることであったが、学校周辺に商店、飲食店が皆無であり、またアルバイトを見つけるのも困難という状況があり、当初は2軒4名が移り住んだが、2018年度が終了する3月には0名となってしまった。従って最終17名のうち、自家用車で登校する3名を除き14名がスクールバス利用者という状況である。

#### 学生の状況

|          | 入学時 | 1年修了時 |
|----------|-----|-------|
| 外国語学科    | 3名  | 3名    |
| 国際ビジネス学科 | 24名 | 14名   |

